

陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第20号（5. 10. 5） 自校方式又は親子方式での中学校給食を求める陳情
陳 情 の 要 旨	1. 会下山小学校と湊川中学校の親子方式による給食を早急に実施すること。 2. 兵庫区内で自校方式又は親子方式での給食を実施すること。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市兵庫区 神戸の中学校給食を実現する兵庫区の会 石井 香織
送 付 委 員 会	教育こども委員会

2023年10月5日

神戸市会議長 坊野あゆみ 様

給食 子 区

Date

陳情者 神戸の中学校で給食を食現の兵庫の会

自校では親子校での
中学校給食を求むる陳情

神戸市兵庫区
石井 貴 様

陳情書 趣旨

神戸市在住の高校2年の男子、中学1年の女子の母親です。

私自身も神戸で生まれ育ち、中学時代はずと母の手作り弁当を持って登校していました。

私には姉弟が3人おり、母は12年間お弁当を作り続けました。

当時の私は他の地区の学校のお昼事情を知ることもなく、

母の手作り弁当は当たり前だと思っていました。

しかし、私も子育てをしていく中で、神戸市では当たり前だった

中学の手作り弁当持参が全国的に当たり前ではない事を知りました。

もちろん毎日お弁当を作ってくれた母には感謝しています。

ですがもし、当時から中学校に小学校と同じような給食があったら

母はあんなに苦勞することはなかったのではないかと。

そう思えて仕方ありません。

以前、神戸に住んでいた友人がいたのですが、子供が産まれるのをきっかけに

他の土地或へ引越していきました。話を聞くとやはり、「神戸は

中学校給食や他の子育て支援も、他の土地或と比べても、かなり

遅れているし、子育てをしにくい」という理由でした。

私は自分が生まれ育った所がそんな風に思われているのが

恥づかしいもあり、情けなこともあります。

日本には「食育基本法」があるのはご存知のことだと思います。

この法の基本的施策 第二十条「学校、保育所等における

食育の推進」の中に「学校、保育所等、又は、地域の特色を

生かした学校給食等の実施」という文が、もりにまわっています。

①

子供たちの食育の観点からみても、皆で同じ物を温かい状態で
 食べることに、誰がどのように作っているかを矢張り、その方々に感謝すること。
 こういった事が大切なのではないだろうか。

これから未来を担っていく子供達は神戸の宝です。
 その子供達が育つ上で最も重要な「食」で子供達を支えるのは、
 行政にとって、当然の事だと思います。

そして育つ子供達が「神戸で子育てをしたい」と思える
 神戸にするために、行政が今しなければいけない事はなにか。
 しっかり考えて下さい。

私の住んでいる地区では、会下山小学校と湊川中学校が
 向かい合、建てています。昔に比べて、生徒数が増えている今、
 小学校で、中学校の分も作り、持つことは可能です。
 こういった親子方式が可能な学校はもっとたくさんあると思います。
 ぜひぜひ親子方式から早急に進めていただきたいです。

数年をめぐると言わず、一刻も早く、各校での給食室での、又は
 親子方式による全員喫食の給食を始めていただきますよう
 よろしくお願ひします。

陳情事項

~~石井香織~~

1. 会下山小学校と湊川中学校の親子方式による給食を早急に実施して下さい
2. 兵庫区内での本校方式又は親子方式での給食を実施して下さい

②